

室町末期から大正期に至る有識故実研究の資料を編集。
日本史は勿論、国文学・服飾史・法制史・神道・日本仏教・
日本文化などを研究されている方の座右の叢書。

宮崎 和廣 編・解説

宮廷文化研究

有識故実研究資料叢書

全十卷

クレス出版

冠

袍

地位家之長文有之大冠以下之冠
 唐草無輪ホリ響尾草依
 炭着ノ輪ニ大初以下ノ高
 通紋
 色四位以上被五位緋六位緑
 六位無紋殺織也

單

地位四菱紅也

下製

冬表字線綾白裏遠蓬澤
 色被藤方遠菱紋也
 三位以上藏人代聽替也位上
 五位六位藏人代替之也位上
 冬表平絢裏平絢
 夏夏被色花園丸裏也

裾

製ノ尻依官有長裾
 下製同

刊行の言葉

財団法人無窮会東洋文化研究所特別研究員

宮崎和廣

有識故実には官廷人の行動の規範を追求する実学的面を備えた宮廷文化の学である。古来、実学としての必要性や古典研究の対象として、官廷貴族や国学者達の絶えざる考究が重ねられてきた。彼らの研究活動の成果が、江戸期の徳川光圀編の『礼儀類典』、塙保己一編の『群書類従』や明治期から平成にかけて度々増補改訂せられてきた『故実叢書』等の工具書・叢書類の形にて、多くの研究者の共有知となったことは、まことに意義深くめでたきことであつた。

だが学問は日新月异、如上の資料類に漏れた新資料や新成果は枚挙に遑なく、これに依る新資料の研究・提供は当然為さるべきことであつた。加えて有識故実の学は明治以降、日本史・服飾史・法制史等の近代の諸科学に再編せられ、その点からは更により精密が加えられたものの、研究史の未整理や多くの資料の未公開等の問題の山積する今日の状況からは、古人の業績に理解無きまま為された研究営為も遺憾ながら少なくないようである。

かかる学的状況に鑑みて、『官廷文化研究 有識故実研究資料叢書』には、室町末期から大正期に至るまでの有識故実研究史上顕彰せらるべき有用な資料で、未刊または公刊せられながらも今日ではもはや稀覯に属する資料を選択し収める方針を立てた。内容から、有識故実全般にわたる「総説」、「年中行事 儀式」「装束」「官職制度」の四類に分ち、「総説」には「有職抄」・滋野井公澄の「管見野水鈔」・「禁秘抄注」、「年中行事 儀式」には年中行事書「公事根源」の注釈書二種の他、年中行事・儀式の次第書・見聞記等に加えて即位礼大嘗祭研究の名著として名高い櫻井秀博士の『即位大嘗 典礼史要』を収めた。「装束」には洞院実照の『蛙鈔』を始め、壺井義知・大塚嘉樹・小林有之・松岡行義等の公武の装束に関する著作を収め、「官職制度」には、壺井義知・速水房常・小塚直持・上田秀雄・岸康賢・靈光等の官職制度に関する著作・筆記・図解等を収め、古人の研究活動の諸相を考察する上での好資料を提供するという点からも意を用いた。

本叢書が日本史・国文学・服飾史・法制史・神道・日本仏教の研究者はもとより、日本文化に関心と愛情を持たれる内外の多くの学徒の座右にて活用せられんことを希求する次第である。

宮廷文化研究 全巻構成

第二節 設備の華麗と財源

前にも説けるが如く、大嘗宮建設の地點は古來その定めなかりしを、孝謙帝は城南の薬園に於て行はせられ淳仁光仁桓武の三代は太政官院を用ゐられき^(一)。然るに平安城初度の式場は朝堂院^{日本存}紀十七にして嵯峨仁明文徳清和光孝諸帝みな然りとす^(二)。陽成院が豊樂院にてその儀ありしは御疾病などの關係なるべし。

註

- (一) 續日本紀に見ゆ。(前章にもいづ。)
 - (二) 朝堂院は内裏の西南に位置せる一郭にして豊樂院と相並べり。大極殿その内にあるを以て大極殿院といへる例も見ゆ。また八省院とも稱す。大内裏圖考 証卷三之上
- 弘仁年間朝廷禮典の式を定められしが、その一部を除き今傳はらず。貞觀に及びまた儀式の官選あり。現今存するところの古書にして、大嘗禮の詳細なる規定を擧ぐるは、これを始めとす。本書すべて十巻となし、その二より四

沿革編 第三章 大極殿時代(上)

大納言

其職掌與右大臣以上參議天下事云 ○此十
 職負令
 義解文

令正負四人也 寛平御宇爲正二人權一人其
 後權官加増 高倉御宇初爲十人○此三十一
 祕鈔文數但十
 人祕鈔作七人

按 職原鈔高倉御宇トハ官職祕鈔ニ兼安元年増
 テ七人トアル是ナリ。公卿補任亦同シ。然ニ職原
 鈔十人ト記シ至フハ非ナリ

按字做小字者
 愚按也後做此

宮廷文化研究 全巻構成

- 第一巻 総説一
有職抄
- 第二巻 総説二
管見野水鈔
禁秘抄注 上
- 第三巻 年中行事・儀式一
公事根元鈔階梯(安永五年跋)
- 第四巻 年中行事・儀式二
公事根源掌故
新雲四節夜鶴抄
新雲小朝拝夜鶴抄
小朝拝次第
仮名略頌
- 第五巻 年中行事・儀式三
御即位見聞私記
大嘗祭儀通覽(伊能穎則、大正二年、如蘭社事務所)
即位大嘗 典礼史要(桜井秀、大正四年、博育堂)
- 第六巻 装束一
蛙鈔
装束文飾推談
衣文愚童訓
有職動物
- 第七巻 装束二
装束要領鈔(寛保二年、錢屋儀兵衛)
源氏男女装束抄(享保二年、壺井義知)
装束拾要抄(寛政十年、須原屋伊八)
装束色目類聚
武家装束抄
- 第八巻 装束三
衣裝記
古今位色考
- 第九巻 官職制度一
職原鈔弁疑私考
(享保三年、壺井義知、唐本屋八郎兵衛)
官職浮説或問
官職統浮説或問
職原須知
- 第十巻 官職制度二
職原図解(天保十四年、永楽屋東四郎・吉助)
百寮訓要鈔直説
僧綱式
職原随問筆記

宮廷文化研究 有識故実研究資料叢書 全十卷

宮崎 和廣 編・解説

第一卷	総説一	定価 9,000円(税別)	ISBN4-87733-243-X
第二卷	総説二	定価10,000円(税別)	ISBN4-87733-244-8
第三卷	年中行事・儀式一	定価 9,000円(税別)	ISBN4-87733-245-6
第四卷	年中行事・儀式二	定価 9,500円(税別)	ISBN4-87733-246-4
第五卷	年中行事・儀式三	定価 9,500円(税別)	ISBN4-87733-247-2
第六卷	装束一	定価 9,000円(税別)	ISBN4-87733-248-0
第七卷	装束二	定価11,500円(税別)	ISBN4-87733-249-9
第八卷	装束三	定価 8,500円(税別)	ISBN4-87733-250-2
第九卷	官職制度一	定価 9,000円(税別)	ISBN4-87733-251-0
第十卷	官職制度二	定価10,000円(税別)	ISBN4-87733-252-9

A5判/上製函入/クロス装 平成17年2月25日刊行
揃定価95,000円(税別) ISBN4-87733-253-7(セット)

事物起源選集 全8巻

紀田順一郎 監修・解説

① 雅俗便覧 日本事物起原 事物原始考	金子 晋 編 松本 茂平 著	定価 8,200円(税別)	ISBN4-87733-231-6
② 増訂 明治事物起原	石井 研堂 著	定価19,000円(税別)	ISBN4-87733-232-4
③ 社会事物 起原と珍聞 座談の泉 事はじめ・物はじめ	植原 路郎 著 植原 路郎 著	定価 9,500円(税別)	ISBN4-87733-233-2
④ 日本文化史 事物起源辞典	雨宮信一郎 著	定価 8,000円(税別)	ISBN4-87733-234-0
⑤ 農業事物起原集成	大野 史朗 著	定価13,000円(税別)	ISBN4-87733-235-9
⑥ 真説 事物起原大辞典	清教社編集部 編	定価14,000円(税別)	ISBN4-87733-236-7
⑦ 日本事物起原誌	植原 路郎 著	定価 5,600円(税別)	ISBN4-87733-237-5
⑧ 日本文化 事物起源考	速水 建夫 著	定価11,000円(税別)	ISBN4-87733-238-3

揃定価88,300円(税別) ISBN4-87733-230-8(セット)

地名研究資料集 全五巻

池田 末則・鏡味 明克・江端真樹子 編集・解説

第一巻	日本	定価20,000円(税別)	ISBN4-87733-184-0
第二巻	大和国 一	定価13,000円(税別)	ISBN4-87733-185-9
第三巻	大和国 二	定価14,000円(税別)	ISBN4-87733-186-7
第四巻	大和名所図会ほか	定価21,000円(税別)	ISBN4-87733-187-5
第五巻	万葉集	定価22,000円(税別)	ISBN4-87733-188-3

揃定価90,000円(税別) ISBN4-87733-183-2(セット)



株式
会社

クレス出版

〒103-0001 東京都中央区日本橋小伝馬町14-5 メローナ日本橋
☎03(3808)1821 ㊚03(3808)1822 <http://www.kress-jp.com/>